

除雪作業を密着取材！！運搬排雪編



記者E・T



記者M・T

降雪や除雪で路肩に雪がたまってくると「運搬排雪」という作業が必要になります。崩れてきたり見通しが悪くなるなどの危険性を回避するためです。

また、家があるところはロータリー除雪車で拡幅除雪をすることができないため（雪を外側へ飛ばすことができない）、ダンプカーに積んで雪捨て場へ運びます。

尾花沢国道維持出張所では、2種類の 방법으로運搬排雪を行っています。

1月から記者E・Tにかわり記者M・Tがレポートします。

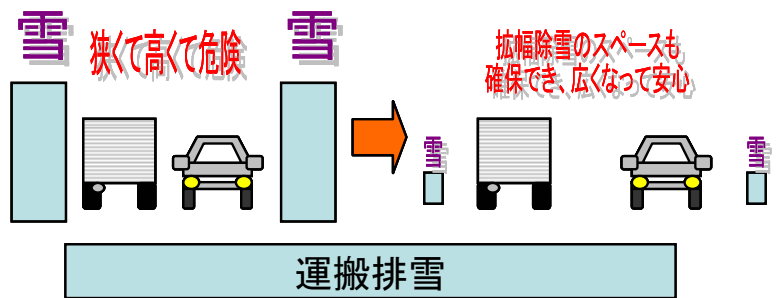
初取材を敢行！尾花沢国道北地区維持工事の運搬排雪をご紹介します。



△このような道幅が狭くなった状態を解消するために運搬排雪を行います。



←(上)写真と同じ箇所
の雪がない状態の写真



①ロータリー除雪車で雪をダンプトラックに積んで排雪する方法。
(通常の運搬排雪)

②運搬排雪車のみで排雪する方法。

①通常の運搬排雪



△交互通行の規制をして実施します。
みなさまのご協力ありがとうございました。



△作業全景。バックホウと人力で雪をかきだし、
ロータリー除雪車でダンプトラックに雪を積み込みます。



△バックホウで慎重に雪を掻き出します。
細かいところは人力で。



△ローリー除雪車でダンプトラックに積み込みます。



この山はダンプ何台分くらいあるんだろう？



まず道路側を排雪して、今度は歩道側をきれいにするんだね。



きれいになった！
この1箇所だけでダンプ約3台分の雪。見た目以上にあったな〜。



見た目以上に雪の量は多いんだな〜と思いました。写真にはないけれど、手前の雪を奥に飛ばして次に排雪する準備をするなど、運搬排雪は1山片付けるのにも何往復かしなければなりません。細心の注意を払って根気よく実施するとともに、交互通行へのみなさんご協力が必要不可欠なんだな〜と思いました。

②運搬排雪車

➡ 昨年度の活躍の様子は2008. 3-5をご覧ください。

- ★交通規制や、ユンボ・ダンプなどの機械・資材を使用することなく運搬排雪が可能。
- ★全国に1台しかないマシーン。
- ★道幅が狭く人家が連なっている区間では機動力を活かして大活躍！
- ★昨年度から最上町瀬見地内で大活躍&大好評。
- ★前に付いていたプラウは着脱式。路面状況に応じて臨機応変に対応。

- 最上町瀬見地内については
- ☆最上町内でも道路の幅が狭かつ人家が連なっているところ
 - ☆毎年運搬排雪で苦慮しているところ
 - ☆歩道がない箇所(路肩)でも、地元小学校の通学路として使わざるをえない状況
 - ☆瀬見温泉に近接しているので、年配の方も温泉利用時に歩く
 - ☆雪捨て場までは片道5km程度なので、運搬排雪車を利用するにあたっては好条件
 - ☆運搬排雪車を区間限定でこまめに利用することで、大規模な運搬排雪の回数低減や、子供たちの通学路確保(路肩外の幅員確保)に能力発揮

運搬排雪車(昨年度)



▲赤丸の部分で雪を掻き上げて荷台へ送りこみます。



道路幅が狭くて危ないな～。



おおっ！



初めて見た！



広くなった！



雪捨て場に雪を置いてまた戻ります。

交通規制をしないですむ方法なので、車はスイスイ流れていました。
 機動力もあるのでこまめに除雪が必要な区間において活躍すると思います。
 日本に1台しかない機械。子ども達や歩行者の安全のために今年も大活躍してほしいと思います。

1月29日、最上町瀬見の区長さんからお礼の手紙が届きました。職員・除雪ステーションの関係者一同で拝見させていただきました。最上町瀬見の区間は歩道がない箇所もあることから、除雪への苦情が多い所でした。昨年度から運搬排雪車を導入し、今年このような手紙をいただくことができました。このような温かいお言葉と励まし、みなさまのご協力をいただけるのはとても嬉しいことです。

寒中お見舞い申し上げます。

毎日除雪作業が苦痛です。今年も冬は早く来ると予想されています。大雪が降ると、除雪作業が追いつかなくなり、道路が閉鎖されることがあります。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



みなさんが安全に通行できるよう、今後とも気を引き締めて除雪作業をしていきます。



技術係長

インタビュー



▲(株)中嶋組 押切 さん (現場代理人)

現場代理人の押切です。

地域住民のみなさま及び一般ドライバーのみなさまのご理解とご協力のおかげで日々の除雪作業を行わせて頂いております。

除雪シーズンも中盤になりますが、これからも24時間除雪体制を維持しながら安全な道路通行確保の為、頑張って除雪作業を行いますので、ご迷惑をおかけする事があるとは思いますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

【運搬排雪車を操縦してみた】

機械運転作業は大変だ～の一言に尽きるのではないかと思います。

一般の大型トラックと同じ車幅で、作業中はさらにロータリ部分が約1.0mはみ出す為、障害物に注意し、センターラインからはみ出し作業になる場合もあります。他の除雪機械よりも神経をとがらせて作業しているところです。

その反面、私たちが除雪してきれいになった所を子供達が笑顔で歩いている姿や地域住民からの『ごくろうさん』の一言で疲れもとれ、満足感でいっぱいになります。



▲(株)中嶋組 下山 さん(運搬排雪車オペレーター)

取材を終えて



記者M・T



今回初めて「運搬排雪車」という、見たことも聞いたこともない、除雪もできるトラックを見学に行きました。

トラックの後に付いてある電光掲示板には、「注意・除雪中」と書いてあったり、トラックの左側には出し入れできるかわいい除雪機が付いててびっくり。

交通規制なしで除雪できるし、いろんな機能が付いた頼もしい運搬排雪車がもっと増えたらいいなあ、うちにも来てほしいなあと思いました。

今冬も安全に除雪を行います。みなさまのご理解・ご協力をお願いします。

道路に関するご意見・質問、出張所通信の感想など
どんどんお寄せ下さい！

国土交通省 山形河川国道事務所 尾花沢国道維持出張所

<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/>

〒999-4221
山形県尾花沢市尾花沢字田町143-1
TEL. 0237-23-2521
FAX. 0237-23-2523



1月の出張所通信

- 1-1. みなさまから寄せられた「お客様の声」を紹介します(11月)
- 1-2. 舗装修繕工事が無事完成しました。(47号編、最終号)
- 1-3. 詳細/パトロールの取り組み状況をご紹介します
- 1-4. 降雪・積雪データを発表します。
- 1-5. 携帯電話で雪情報・道路画像をCHECK!
- 1-6. 舗装修繕工事が無事完成しました。(13号編、最終号)